

県南地域づくりキャンパス事業「日和佐の魅力発見！プロジェクト 2023」報告

徳島大学 教養教育院 Gehrtz-三隅友子

経緯：

本事業は 2018 年度から、特にコロナ禍によって 2020 年度より状況を鑑みて予定を変更しながら現在に至っている。今年度（2023 年）からは、美波町にてのフィールドワークが問題なく実施できた。さらに昨年に引き続き、参加対象をこれまでの学生（留学生と日本人学生）から、オンラインによる本学の公開講座「デジタルファシリテーション入門・田原真人講師」受講生（一般社会人）へ広げ、新たな共創の学びの場への手がかりを得られた。

内容 (1) テーマ：美波町の魅力を学び発信するー新たな地域づくりへー

(2) **目標：**美波町を、深く多面的に学び、自らの故郷との比較を通して、将来の（各自の）地域の担い手として、自らの存在や役割を考える。

概要：事業の流れ（実施内容 別紙参照）

- ①美波町との打ち合わせ＝事業への取組（予算等も含め）の確認
- ②とくしま異文化キャラバン隊（本学学生による地域活性化の支援をするグループ）の結成：
留学生（「日本事情Ⅰ及びⅢ」：三隅友子担当）・日本人学生（「異文化交流から学ぶグローバル化」「異文化交流体験から何を学ぶのか」：齊藤隆仁担当）の受講者及び希望者（学外を含む）（注：同じ学生が前期と後期を重複履修しているがほぼ入れ替わっている）
- ③美波町についての学習と最終課題作成及び発表

考察：当初の計画した事業効果を検証する。

①**大学生がオンラインで美波町を学ぶ際に三つのリソースを活用し、確認さらなる提案を試みる。**

観光や移住の情報が適切に伝わるかどうかの提案もする。

社会的リソース：役場、薬王寺、うみがめ博物館カレッタ、日和佐八幡神社、道の駅、観光協会等

物的リソース：美波町の動画、観光や移住推奨のパンフレットや資料、映画「波乗りオフィスへようこそ」

人的リソース：講義担当者及びフィールドワーク支援者（美波町の活性化を担う人材）

→今年度は、前期の 7 月 16 日 うみがめまつりに合わせて、フィールドワーク（オリエンテーリング方式）が実施できた（学生 12 名市公開講座参加者社会人 12 名）。後期は前期の学びを継続し、11 月 25 日に薬王寺までのミニ遍路体験、12 月 10 日にまつりサミットと地域のフィールドワークが行えた。あらためて実際を見て触れて感じて、また人材と顔を見ながらやり取りをすることの大切さを確認した。

②**オンラインで美波町の魅力を学び、個人の学びを通して参加者が協力し提言を創出し、さらに多くの人や地域に発信することを試みる。**

徳島大学の学生（前後期合わせて日本人 64 名、留学生のべ 16 名）が、講義（オンライン及び対面）や資料（パンフレット、地図などの冊子、ホームページ、映画）から学んだこと、さらに後

期はフィールドワークによる発見を加えて、グループワークによる対話の学びを進めた。最終課題のお披露目を発表会として授業最終日に実施した。

<最終課題>

前期：7月19日「**まちづくりの提案**：美波町活性化のためのアイデア」意見交換会

7月26日 留学生による「日本人への提言」発表会

本講義及び留学生生活を通して「**日本人への提言**（こうしたら日本はもっとよくなる、多文化共生が進むだろうという提案）」スピーチとして原稿を作成し発表する。

発表原稿集：添付資料

後期：授業内で学んだ題材の一つを選び、「異文化理解、国際交流のために自らが大学生活で何をしたらよいかという**自分への提案**」各自の発表を聞き共有した後レポートにして提出、留学生は前期と同じく「**日本人への提言**」原稿作成し発表。

1月24日 留学生による「日本人への提言」発表会

発表動画：<https://youtu.be/9R4Us5gU5mo?si=U5sfAQ1D-OINhKJ4>

③上記の内容をオンラインで地域を学ぶパイロットスタディとして発信する。

講座番号 **A002** **デジタルファシリテーション入門** 定員 **100名**
副題 **地域社会を参加型社会で創る**

日時 **土曜日** 6/24 7/1 7/8 全5回 受講料 **5,500円**
9:00-10:30 7/22 7/29 講師 **田原真人**
Gehrtz 三隅友子

講座の概要 **Zoom** 講座中7月の土日を使って美波町(徳島県海部郡)のフィールドワークを別途予定しています。宿泊、交通費等は受講生負担となります。

コロナパンデミックによってオンライン活用が広がりました。リモートワークや二拠点生活などを組み合わせた新しい参加型の地域社会を、フィールドワークとオンライン対話を行うデジタルファシリテーションの手法で探求します。

今年度（2023）は昨年から引き続き、徳島大学人と地域共創センターの「デジタルファシリテーション入門講座」と連携し、オンラインで開かれた講座の「参加型地域社会を創る」のケーススタディの場として、一般受講生（24名）のフィールドワーク（参加者12名）参加し学生との交流も行えた。

今後も徳島大学（日本人学生と留学生そして社会人）の学びの場として美波町を設定し、本事業を継続かつ展開する予定である。

事業をふりかえって：

「日和佐の魅力発見！プロジェクト」と称した本事業は、徳島大学が文部科学省留学生交流拠点事業実施の中で始まった。最初は美波町日和佐八幡神社の祭りを支援する（留学生を含む大学生及び高校生にちよさの担ぎ手として参加をよびかけ、祭りの存続を図る）活動であった。その後、文化庁の日本語教育スタートアップ事業として、地域の外国人との共生を目指す日本語教室の設立へとつながった。この二つの事業を



通して、徳島大学と美波町の連携が続いた。

詳細は電子ブック「多文化共生のまちづくり・未来への第一歩」徳島大学国際センター報告書 <https://www.isc.tokushima-u.ac.jp> 終了した事業、及び「美波町に生まれた六つのストーリー」<https://www.town.minami.lg.jp/docs/804.html> 美波町ホームページ参照のこと。

その後、2018年から県南地域づくりキャンパス事業内での実施となった。この2013—2023年度の10年

間での変化は、美波町からの依頼、すなわち祭りの支援、多文化共生の拠点作りへのアドバイス、観光政策へのヒント提供といった、町から大学あるいは学生（留学生）へ「どうしたらよいのか」の問いかけに応えることが目的であった。祭り自体が町と保存会等の努力から継続を可能としたこと、日本語教室の開催による外国人住民への目に見える形の支援体制ができたこと、古民家を新たな宿にする試みや観光アピールのさまざまな取り組み等が、コロナ禍を越えた今まさに実現できたことが確認されている。

とりわけ、本プロジェクトの授業では講師としてそれぞれの専門家からこれまでと今そして今後の取り組みについて、受講学生に対しての講義をお願いしてきた。学生からの各講義の後の感想は細かい質問を含め、取り組みに対する好意的な評価が多く得られ、各講師には感想をまとめてお渡ししてきた。質問に対する回答を含め、フィールドワークの際には、対面にて直接講師へ質問する機会をもつことができ、一方通行の授業ではなかったことも確認できた。

あらためてここ数年の本活動の生産物（最終プロダクト）が変化した点は、「学生の視点から町への新たなアドバイスを提供する」から「美波町の自治体としての魅力あるリソース（物的、人的、社会的）を生きたものとして実際に知る」こととなったことだろう。2018年当初は、最終課題発表に講師や町長に参加していただいたときもあった。

受講する日本人学生は半数以上が県外から、県内出身者も美波町の存在をニュース（薬王寺やウミガメに関して）聞くくらいで予備知識は全くない状態であった。初年次の学部も違う学生と留学生らが、ともに美波町の取り組みを聞き、話し合いさらにフィールドワークをする機会が大変貴重であったことが、特に2023年1月に提出されたレポートから読み取ることができた。

一緒に学ぶ仲間としてのグループ作りから始まり、グループ内での留学生への日本語のサポートを体験し、それぞれの出身地を紹介すること、そして「にぎやかそ＝にぎやかな過疎の町」というネーミングの意味を知ることとなった。授業のねらいとしては、自分の町を意識する、徳島市（大学のある地域）を生活の場として知る、美波町というひとつの新たな挑戦を試みている町を知るこの三つの体験から、大学卒業後の新たな居住地となる場で各自の専門性を活かした活動ができるかの準備の場となると考える。

以上簡単な総括とした次第である。

実施にあたって、県南地域づくりキャンパス事業として助成を受けられたことを深く感謝いたします。

11月25日 遍路



12月10日 オリエンテーリング



2023 年年度実施スケジュール 資料

前期	異文化交流から学ぶグローバル化、日本事情Ⅰ 講義内容等
4月12日	対面：初回オリエンテーション
4月19日	対面：授業内容オリエンテーション①と・コミュニケーションゲーム
4月26日	対面：授業内容オリエンテーション②と・コミュニケーションゲーム
5月10日	対面：動画で知る美波町
5月17日	オンライン：受講者の町紹介
5月24日	対面：美波町の地誌と歴史① 生駒講義
5月31日	対面：美波町の地誌と歴史② 生駒講義
6月7日	対面：ウミガメ博物館カレッタの役割 : 平手館長
6月14日	オンライン：美波町の多文化共生の取り組み 遊亀美枝氏・ハーモニー代表
6月21日	オンライン：美波町観光協会の取り組み : かめたろうさん
7月5日	対面：映画「波乗りオフィスへようこそ！」上映
7月12日	対面：美波町活性化のアイデア 最終レポートへ向けて（日本人学生）
7月16日	フィールドワーク 美波町オリエンタリング
7月19日	対面：フィールドワーク 振り返り
7月26日	日本人への提言報告会（留学生）
後期	異文化交流体験から何を学ぶのか、日本事情Ⅱ 講義内容等
10月4日	対面：初回オリエンテーション
10月11日	対面：授業内容オリエンテーションと・コミュニケーションゲーム
10月18日	対面：美波町の地誌と歴史① 生駒講義
10月25日	対面：動画で知る美波町
11月8日	対面：美波町の地誌と歴史② 生駒講義
11月15日	対面：映画「波乗りオフィスへようこそ！」上映①
11月22日	対面：映画「波乗りオフィスへようこそ！」上映②
11月25日	フィールドワーク 遍路体験・佐野先達と 木岐→薬王寺
11月29日	オンライン：あわえとサテライトオフィス事業 遊亀聖悟氏
12月6日	オンライン：フィールドワーク準備 遊亀美枝氏
12月10日	フィールドワーク 美波町オリエンタリング
12月13日	対面：遍路体験とオリエンタリング参加者報告会
12月20日	フィールドワーク報告会
1月10日	この授業を通しての学びの振り返り（日本人学生）
1月17日	日本人への提言報告準備
1月24日	日本人への提言報告会（留学生）